

○桑員 2025 プラン及び新公立病院改革プランの概要

病院名	桑名市総合医療センター	三重県厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院																																										
策定年月	平成 28 年 3 月	平成 29 年 12 月																																										
病床数	病床の種別：一般 620 床 療養 42 床 【3 医療センターの合計】 <table border="1" data-bbox="501 342 1481 711"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 28 年度 病床機能報告</th> <th>6 年が経過 した日</th> <th rowspan="7">新公立病院改革ガイドライン では、将来(2025)の病床数の記 載は求められておらず、平成 28 年度病床機能報告における 6 年 後の値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>3 床</td> <td></td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>540 床</td> <td>307 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休棟</td> <td>119 床</td> <td>355 床</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>662 床</td> <td>662 床</td> </tr> </tbody> </table>		平成 28 年度 病床機能報告	6 年が経過 した日	新公立病院改革ガイドライン では、将来(2025)の病床数の記 載は求められておらず、平成 28 年度病床機能報告における 6 年 後の値	高度急性期	3 床		急性期	540 床	307 床	回復期			慢性期			休棟	119 床	355 床	合計	662 床	662 床	<table border="1" data-bbox="1546 342 2570 711"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 28 年度病床機能報告</th> <th>2025 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td></td> <td>ハイケアユニット 4 対 1 看護 6 床</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">急性期</td> <td>一般病床 7 対 1 看護 162 床</td> <td>156 床</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病棟 13 対 1 看護 58 床</td> <td>58 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>220 床</td> <td>220 床</td> </tr> </tbody> </table> <p>※9 床が未稼働病床で削減対象であるが、削減するかは未確定</p>		平成 28 年度病床機能報告	2025 年度	高度急性期		ハイケアユニット 4 対 1 看護 6 床	急性期	一般病床 7 対 1 看護 162 床	156 床	地域包括ケア病棟 13 対 1 看護 58 床	58 床	回復期			慢性期			合計	220 床	220 床
	平成 28 年度 病床機能報告	6 年が経過 した日	新公立病院改革ガイドライン では、将来(2025)の病床数の記 載は求められておらず、平成 28 年度病床機能報告における 6 年 後の値																																									
高度急性期	3 床																																											
急性期	540 床	307 床																																										
回復期																																												
慢性期																																												
休棟	119 床	355 床																																										
合計	662 床	662 床																																										
	平成 28 年度病床機能報告	2025 年度																																										
高度急性期		ハイケアユニット 4 対 1 看護 6 床																																										
急性期	一般病床 7 対 1 看護 162 床	156 床																																										
	地域包括ケア病棟 13 対 1 看護 58 床	58 床																																										
回復期																																												
慢性期																																												
合計	220 床	220 床																																										
各種指定の状況	二次救急指定病院、災害支援病院、基幹型臨床研修病院、 がん診療連携推進病院 等	二次救急指定病院、地域災害拠点病院、労災保険指定病院、基幹型臨床研修病院、 がん診療連携推進病院 等																																										
今後担うべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ○桑員地域の医療の拠点となる高度医療及び急性期医療における地域の中核病院 ○平成 37 (2025) 年においては、急性期機能に特化しているとともに、ER 機能の導入による桑員区域における救急医療等にかかる基幹病院 ○周産期医療の県最北端の拠点としての役割 	<ul style="list-style-type: none"> ○いなべ市唯一の総合病院として、急性期医療の役割を中心に担う ○いなべ地域内に回復期病室が不足していることから、高度急性期から急性期、回復期までの病室に対応 ○いなべ市では開業医が少ないうえ、高齢化・後継者不足により開業医不足の進展が予想される中、いなべ市・東員町の地域医療を支える総合病院として、幅広い診療科に対応できる外来診療を提供 ○三重北医療センターとして、菰野厚生病院との連携を推進し、限られた医療資源の中で、相互の診療機能を効率的に補完・強化していく 																																										
主な取組内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療、周産期医療、小児医療、がん医療、脳血管障害・循環器疾患、及び消化器疾患に重点的に取り組む ○地域医療連携の推進、災害時医療・感染症流行時などの医療協力への対応 ○地域における在宅医療を含む医療、福祉及び介護の連携体制（地域包括ケアシステム）の構築に貢献するため、地域医療連携室の機能の充実 ○在宅患者の急変時受け入れ 	<ol style="list-style-type: none"> 救急医療 <p>地域の救急医療を担うため、一次～二次の幅広い救急医療を提供する必要があり、内科中心の常勤医師、救急専門医の招聘、救急医療体制の強化に取り組む。</p> <p>心疾患の受け入れ体制の拡大を図る一方、小児救急については、近隣基幹病院との連携を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> がん医療 <p>がん診療連携推進病院として、質の高い医療を提供。放射線治療等は、近隣基幹病院と連携。緩和医療に取り組み、在宅看取りにも対応できるよう訪問看護の強化、在宅医との連携強化に取り組む。検診事業による早期発見にも努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 透析医療 <p>いなべ地域の透析医療を維持。透析拡大ニーズに対応できるよう腎臓内科医の招聘に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 災害医療 <p>津波の恐れがない等の強みを活かし、災害備品の充実、災害備品調達の後方支援体制の構築、災害患者受け入れ体制の構築を図り、災害拠点病院としての責務を果たす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅医療・高齢者福祉事業 <p>行政、医療機関、訪問看護が一体となった地域包括ケアシステムの構築を、行政とともに目指す。また、行政の支援を受け、地域包括支援センターの設置を検討。</p> 																																										